



令和 7 年 6 月 6 日
第十管区海上保安本部

日本・米国・フィリピンによる合同搜索救助訓練について ～ 新たなステートメントに基づく初の訓練を鹿児島で開催！～

海上保安庁は、米国沿岸警備隊 (USCG) 及びフィリピン沿岸警備隊 (PCG) と合同で、海上における搜索及び救助に関する訓練を日本で初めて開催します。これは、令和6年4月の日米比首脳による共同ビジョンステートメント発表後『初』の日米比三カ国による合同訓練であり、本訓練を通じ三カ国の連携・協力体制の強化を図ります。

また、本訓練の実施にあたり、日米比三カ国の相互交流の一環として、巡視船相互訪問や海上保安庁の施設見学等も行います。

1 訓練日時・場所

開 催 日: 令和7年6月20日 (金) (予備日: 令和7年6月21日 (土))

場 所: 鹿児島県鹿児島湾 (錦江湾)

2 訓練概要

九州南方の公海上で船舶同士が衝突し、火災及び海中転落者が発生したとの想定のもと、日本、米国及びフィリピンの海上保安機関が連携し、合同で次の訓練を実施します。

(1) 鹿児島RCCと各国巡視船との情報伝達訓練 (海難船舶の情報を共有)

※ RCC (Rescue Coordination Centre) : 救助調整本部

(2) 合同搜索救助訓練 (海中転落者の搜索救助)

(3) 火災船消火訓練 (火災船を想定し、放水による消火訓練を実施)

3 参加国機関及び勢力

(1) 日本側(海上保安庁)

鹿児島RCC

巡視船あさなぎ(総トン数 6,000 トン・鹿児島海上保安部所属)

巡視艇さつかぜ(総トン数 26 トン・鹿児島海上保安部所属)

巡視艇うけゆり(総トン数 26 トン・指宿海上保安署所属)

中型回転翼航空機 1機(鹿児島航空基地所属)



巡視船あさなぎ

(2) 米国側(米国沿岸警備隊)

調整中

(3) フィリピン側(フィリピン沿岸警備隊)

巡視船「BRP テレサ・マグバナア(MRRV-9701)」

(総トン数 2,265 トン)

搭載艇1隻



出典：PCG 提供

4 参考

(1) 共同ビジョンステートメント

令和6年4月の日米比首脳会合において、共同ビジョンステートメントを発表。

共同ビジョンステートメントにおいて、「日米比三カ国の海上保安機関は、相互運用性を向上し、海洋安全及び保安を推進するため、インド太平洋において三カ国海上合同訓練及びその他の海上活動を実施する」ほか日米比海上保安機関の連携協力について記載されている。

(2) 過去の日米比合同訓練の実施状況

令和5年6月、マニラ湾西方海域において、日米比海上保安機関による合同訓練を初めて実施。

<訓練参加勢力>

日 本 : 巡視船「あきつしま」

米 国 : 巡視船「ストラトン」

フィリピン : 巡視船「BRP メルチョラ・アキノ(MRRV-9702)」、
「BRP ガブリエラ・シラン(OPV-8301)」